

# 米倉教公の週間為替市場見通し

5/22 日週号

ドル/円予想レンジ 109.20 - 113.10 円

## 『今週もトランプ・ロシアゲート関連報に注意!』

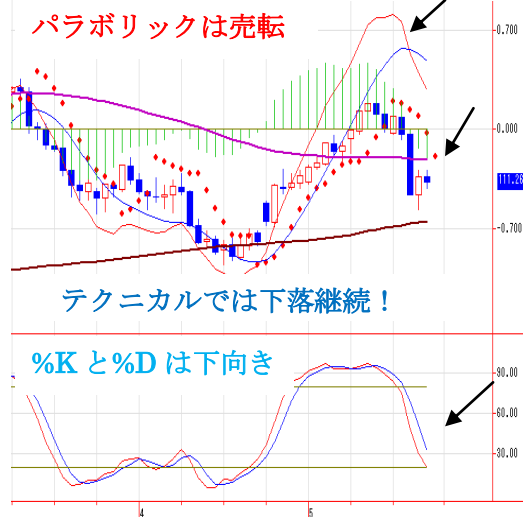
### ■今週の市場動向：ドル/円は大幅下落!

今週のドル/円週足では、大陰線となり 200 週線と 26 週線に挟まれる展開となった。週明けは、前日の北朝鮮の弾道ミサイル発射を受けて 113.09 円まで売りが先行したが、サウジアラビアとロシアの原油減産の延長合意を受け米国株高・米金利上昇となり切り返した。16 日は、トランプ大統領がロシアに機密情報を明かしたとの報道や米 4 月住宅着工件数がドルの重しになった。17 日は、FBI 前コミー長官の突然の解任に絡むロシアとの癒着疑惑からトランプ大統領の弾劾観測が持ち上がると、米政治不安が一段と強まり株価の下落や米長期金利の低下でリスク回避の動きが強まった。18 日は、コミー元長官が『ロシア疑惑調査を終了させる政治的圧力を受けていない』と証言したビデオが出回ると 111.70 円台まで買い戻された。19 日は、クロス円の上昇につれて 111.70 円まで上げる場面もあったが、方向感の乏しい展開となった。

### ■来週の注目点：トランプ・ロシアゲート関連報には注意!

来週の米国では、イラン大統領選の結果、G7 首脳会談、OPEC 会合、FOMC 議事録が注目される。また、トランプ大統領を巡るロシア疑惑懸念がくすぶるなか、ヘッドラインリスクが存続する。ただ、トランプ政権が新たな予算案を提示し、その中今後 10 年間で 2000 億ドルのインフラ支出を提案する見通しとなっているが、これは相場にとってはプラス材料となる。トランプ大統領は、G7 首脳会談出席に向けて就任後初めての外遊に出る。その後、中東を廻り停滞する中東和平交渉の仲介が上手くいくかで支持率回復できるか焦点となる。米国は政治的混乱にも関わらず、国内経済は順調に回復傾向にある。そのため、FOMC が 6 月の会合で利上げに踏み切る軌道に変更がないか、5 月の FOMC の議事録で確認する形となる。イラン大統領選では、現大統領のロウハニ氏が再選となるか、強硬派のライシ候補が勝利するか注目。上値目途は、17 日大陰線の半値戻し 111.96 円、17 日高値の 113.13 円、下値目途は 18 日安値の 110.21 円、200 日線の 109.77 円、4 月 25 日安値の 1109.56 円、窓閉めとなる 4 月 21 日高値の 109.42 円となる。

ドル/円：日足 終値：111.26 円



### ★今週の気になる出来事

今週はトランプ大統領を巡るロシア疑惑に市場が振り回される展開となった。ただ、騒ぎは大きいものの、証拠らしい証拠がないのが現状である。メディアは何か『トランプ大統領を弾劾』に持ち込みたいとのもくろみが見え見えである。ただ、これだけ騒がれても NY ダウが大暴落しないことである。17 日に 370 ドル超下落したが、その後の二日間で 200 ドルの上げとなった。トランプ大統領への期待の大きい証ではないだろうか? 米国投資家は、未だにトランプ大統領への期待が継続していることになる。

### ■テクニカル的な見解：テクニカル的には下落トレンド継続!

シカゴ IMM 投機筋の 5 月 16 日付け対米ドルの差し引き持ち高は、円は前週の▲36,307 から▲60,008 へと売り持ちは前週から大幅に増加した。パラボリック (パラメータ: 0.08, 0.3) では、5 月 12 日に売り転換が継続。22 日の SAR は 112.25 円まで上昇すると買い転換となる。MACD (パラメータ: 12, 26, 9) では、MACD とシグナルがデッドクロス。ストキャスティクス・スロー (パラメータ: 14, 3, 3, 20, 80) では、%K: 19.31、%D: 32.55 と下向き維持。75 日線 (紫線) を緩やかに低下傾向。200 日線 (茶線) は緩やかに上昇基調となっている。ロウソク足は、前日ロウソク足に対して『はらみ線』となっており、迷い足となっている。米政治リスクや地政学リスクが高まる可能性もあり、突然の変動には注意が必要となる。ドルインデックス指数や米長期金利低下も円高傾向を強める可能性がある。

本レポートについての注意事項は巻末をご覧ください。必ずご確認ください。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 28 食産第 3988 号,経済産業省 20161108 商第 10 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

**【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】**

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

**【価格変動リスク】**

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

**【レバレッジリスク】**

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

**【信用リスク】**

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第37条の6の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。